

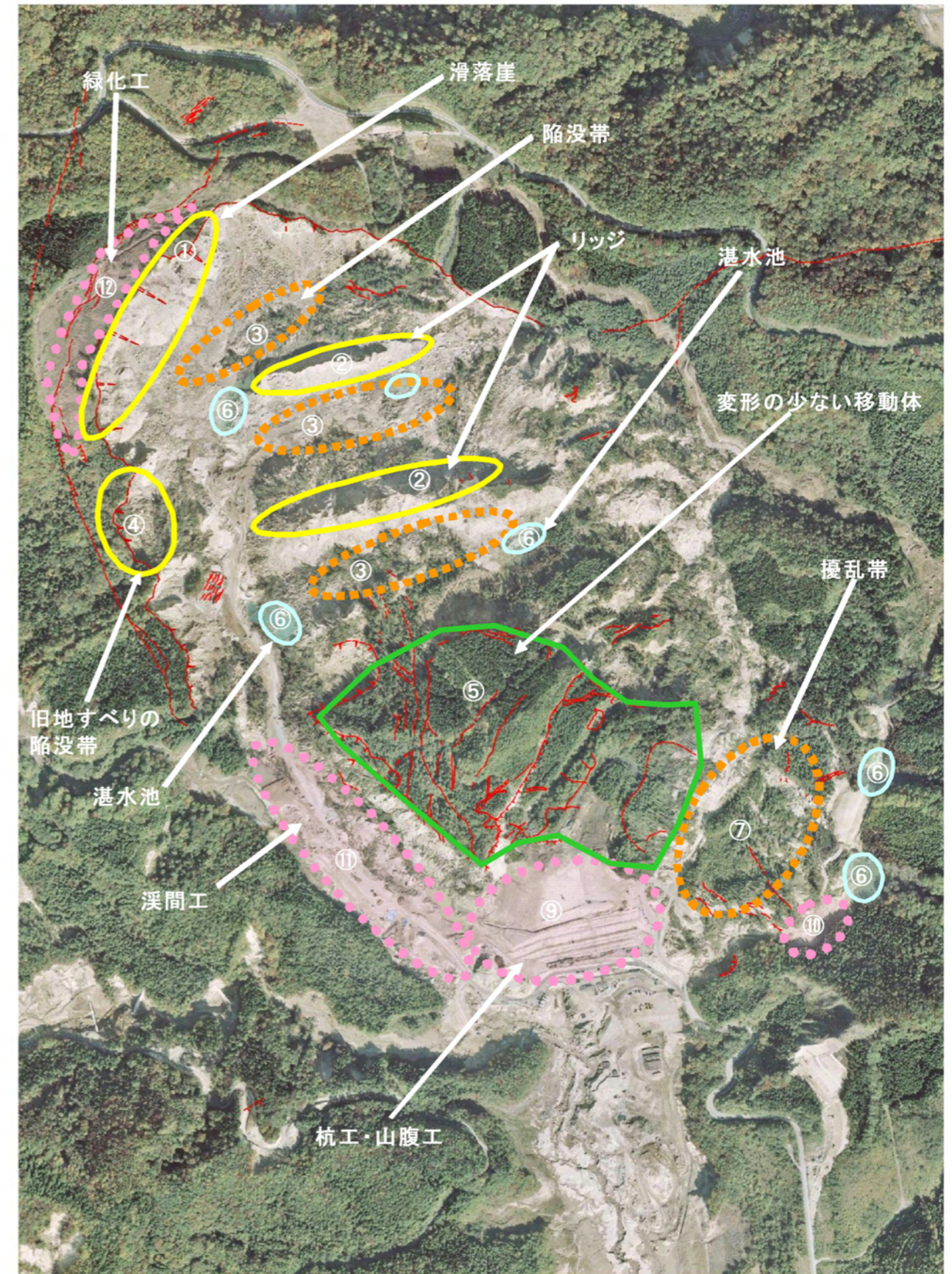
### 4.3 観察事象の整理

今後のモニタリングならびに利活用を図る上での参考として、地すべり地周辺における観察事象を整理する。観察事象としては、以下のものがあげられる。

- ① 地すべりで形成された特異な地形・地質
- ② 裸地への植生の侵入（植生遷移）
- ③ 地すべり対策工

表 4.3.1 観察事象の整理

区分	No.	現象等	特徴	観察事項
地形・地質等	①	滑落崖	落差 100m以上の急崖で溶結凝灰岩と軽石凝灰岩の層界は明瞭	・崩壊や落石による崖面の変化 ・崖面のせり出し状況
	②	リッジ	陥没帯と対をなすやせ尾根状の残丘。2箇所形成されている。	・侵食による地形の平準化 ・植生の進入と変遷
	③	陥没帯	滑落崖直下と二つのリッジ間に発達する大地溝帯	・植生の進入と変遷 ・土砂移動状況
	④	旧地すべりの陥没帯	古い時代に発生した地すべりの痕跡	・旧地すべりの痕跡（露頭面の観察） ・崖面の変化
	⑤	変形の少ない移動体	植生と市道を乗せたまま約300m移動	・市道路面の変形状況 ・寸断された林道 ・地内に存在する亀裂の変化 ・周縁部崩壊地の変化
	⑥	湛水池	右岸側流路沿い、陥没帯内、末端部に形成 一部は仮排水路が施工済	・湛水量の変化 ・周辺からの土砂堆積状況
	⑦	擾乱帯	地すべりが不動山体へ衝突したため、移動土塊が深層から絞り出されるようにリフトアップされた。	・地表に押し上げられた構造物 ・破碎した砂岩シルト岩の風化状況 ・傾倒したスギ林
植生の進入	⑧	裸地	陥没帯やリッジの裸地面	・植生の侵入と変遷
地すべり対策工	⑨	杭工・山腹工	末端ブロックの対策工	・地すべり対策工の種類と目的 ・対策工の効果
	⑩	集水井工	末端部湛水池排水のための対策	〃
	⑪	溪間工	流路の安定と土砂流出防止対策	〃
	⑫	緑化工	頭部排土後の法面及び流路沿いや山腹に実施	・緑化工の種類と目的 ・植生の回復状況



踏査（'09年9月）および空中写真（'09年10月15日撮影）より作成

0 100m

図 4.3.1 観察事象の位置図



① 頭部滑落崖



②③ 第1~第2リッジと陥没帯



② 第1リッジ



④ 旧地すべりの陥没帯



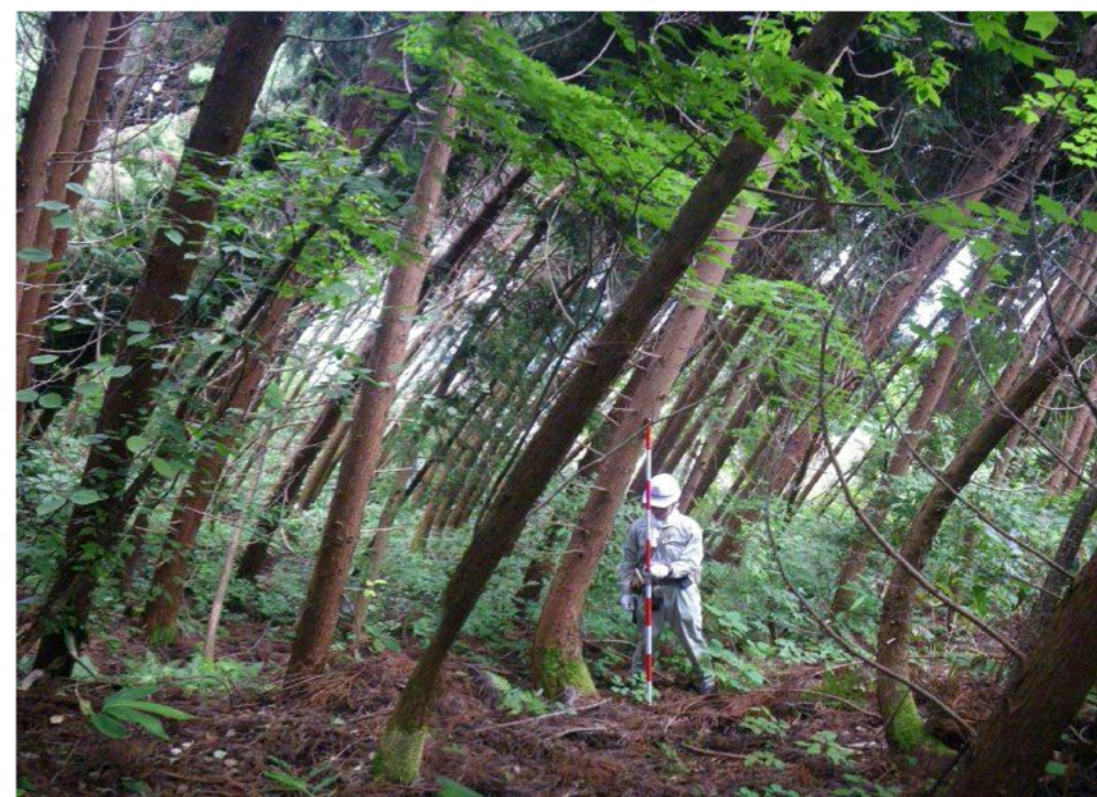
⑥ 滑落崖直下の湛水池



⑥ 第2 リッジ側方の湛水池



⑦ 擾乱帯の地表に押し上げられた構造物



⑦ 末端部の立木の傾倒